



## 「台東区生活安全のつどい」を開催します。

今年も10月11日から10月20日までの間、全国地域安全運動が実施されます。これに先立ち台東区では、10月3日（月）午後3時から浅草公会堂において区・区内警察署・各防犯協会の共催による「台東区生活安全のつどい」を開催します。第一部では、式典と小宮信夫先生（立正大学文学部助教授）による「犯罪に強い街をどうつくるか」～機会なければ犯罪なし～と題した講演。第二部では、林家一門による落語会（出演：林家正蔵、林家いっ平など）が行われます。入場は無料です。皆様のご参加をお待ちしております。

## 「台東区生活安全」を発行しました。

台東区では、体感治安に最も影響を与える「空き巣」などの窃盗被害を中心とした平成16年中の区内の犯罪発生状況と区的生活安全施策をまとめた「台東区生活安全」を発行しました。この冊子は、生活安全推進協議会の参加団体向けに発行するものですが区民の皆様は、区役所の区政情報コーナーや各区立図書館にて閲覧いただけるほか、区公式ホームページでご覧いただけます。

### 概要

平成10年から平成16年までの区内全刑法犯の認知件数を見ますと平成12年、平成14年にピークの山があり、その後減少傾向を示しています。平成16年の区内全刑法犯の認知件数は、平成15年と比べ5.4%減少しています。しかし、平成10年と比べると16.3%増加しています。

### 特徴

平成15年と比べ「殺人」「強盗」などの凶悪犯、「自転車盗」「ひったくり」などの非侵入窃盗犯（街頭で金品を盗む犯罪）が減少しているのに対し、「暴行」「傷害」などの粗暴犯、「詐欺」などの知能犯が増加しています。

侵入窃盗犯（住宅や店舗などに侵入して金品を盗む犯罪）については、平成15年と比べ2.4%増加しており、中でも「空き巣」は、30件増加しています。

「空き巣」の被害場所では、4階建て以上の「中高層住宅」が72%を占め、一戸建て住宅が13%になっています。侵入方法の割合としては、「ガラス破り」が28%と最も高く、鍵のかけ忘れなど「無施錠」の場所からの侵入も16%となっています。



## 空き巣撃退!! 「空き巣対策補助金制度」の対象世帯を全世帯に拡大します。

空き巣等の被害を未然に防止する目的で玄関錠の交換や補助錠の取付け、窓ガラスへの防犯フィルムの貼付け等の改良をしたとき、その費用の一部を補助する制度を10月1日から次のとおり拡充します。

- ①対象者 10月1日から区内に居住し、住民登録または、外国人登録をしている全世帯が補助の対象となります。（これまでの補助対象世帯は、高齢者（65歳以上）のみ世帯等に限定していました。）
- ②10月1日以降に区内の施工業者が工事、取付けを行った場合に限り補助をします。
- ③これまで補助の対象でなかった世帯の方でも平成17年4月1日以降の領収書があれば補助金の申請を受付けます。

※4月から9月までに改良工事等を行った方は、区内・区外の業者は問いません。

- ・補助の対象となる工事等 .....  
平成17年4月1日から平成18年3月31日までに改良をしたもの。
- ・申請は1世帯一回限り。
- ・補助金 .....  
工事又は購入に要した費用の2分の1（上限1万円）。

### 【お問合せ】

台東区コールセンター (5246)1616  
又は  
生活安全推進担当まで (5246)1044

## 「安全・安心まちづくり」に向けて台東区内の各団体が活発に討議 ～「台東区生活安全推進協議会」を開催～

9月2日（金）区役所10階会議室において「台東区生活安全推進協議会」を開催しました。この協議会は、区、区議会、警察署、消防署、郵便局、防犯協会、町会、商業、観光団体などの代表約40名が集まり、各団体の連携を図り、地域を挙げて犯罪に強いまちづくりを進めていくことを目的として昨年8月に発足しました。今回の協議会では、区担当職員から区内の犯罪情勢、区的生活安全に関する取組みが、区内4警察署からは、各警察署の犯罪抑止に向けての取組み、最新の管内犯罪情勢などが報告されました。意見交換の場では、「自転車の暴走行為」「公園における子どもの安全確保」「犯罪情報のメール配信」などについての質問、要望が区、警察に寄せられました。

また、最近の新聞報道によると暴力団抗争再燃が懸念されることや昨年区内で暴力団による拳銃発砲事件が2件発生していることなどから暴力団排除についても意見が交わされました。



平成16年度 台東区「安心・安全まちづくり」標語コンクール受賞作品

一般の部 優秀賞 安全な街を育てる みんなの目 鈴木 清（足立区）  
小・中学生の部 優秀賞 あいさつで守ろうぼくらの すむ町を 荻野 恒樹（中野区）